



## 家庭科で生活をよりよくする工夫を学びましょう

浜松市小学校家庭科研究部、令和4年度の研修がスタートしました。今年度も家庭科だより「まど」を通して、情報を発信してまいりますので、よろしくお願いいたします。

さてコロナ禍にあった2年間、学校の行動基準のレベルが2や3に上がったり、逆に1に下がったりする状況をいつも気にしながら、調理実習の実施の検討や方法の工夫をしてきました。また、ICTを活用しての実践も、コロナ禍での学習を進める一助になったことでしょう。

今年度は、昨年度までと違い、ゴールデンウィーク明けも際立った感染者数増加が見られず、少しずつ感染状況は落ち着いてきていると思われれます。この状況下において、各学校では工夫して調理実習が実施されていることでしょう。本校でも5年生の子供たちが先日「ゆでる」調理にチャレンジしました。じゃがいもは水から、青菜は沸騰した湯からゆでていました。またゆでることでかさが減るものは、たくさん食べることができるという気付きもありました。じゃがいもの芽は包丁でとるのが大変そうでしたが、子供たちは食中毒を起こすという健康被害がないよう、懸命に取り組んでいました。



第1回研修会での小清水先生の講話にあったように、「じゃがいもの芽はとる」という事実的な知識が、「食中毒を起こさず健康に留意して食べる」という概念的な理解と合わさって、健康な食生活を支えることができるのだと再確認しました。

また、今年度も昨年度に引き続き、消費者教育の研修にも取り組んでいきたいと考えております。小学校と中学校の系統性を図り、自立した消費者を育てるために、消費者教育の一層の充実を図る必要があります。ロシアとウクライナの戦争が長期化する中、物価上昇や円安が続いています。私たちは、限りある物や金銭の大切さを考え、私たちの生活が環境に与える影響にも知恵を働かせながら、持続可能な社会を目指していかなくてはなりません。

家庭科の授業を通して、子供たちと一緒に学び続ける教師でありたいと思います。

## 小学校家庭科研究部 第1回研修会報告

令和4年5月25日（水） 於：アイミティ浜松 ホール

### 講話「3観点に基づく学習評価と指導の工夫」

静岡大学教育学部 小清水貴子准教授

学習指導要領に基づいた学習評価や、ICTを使った深い学びのある授業について、とても分かりやすくお話していただきました。

まず、「どうして家庭科を学ぶのか」という問いに対し、「生活をよりよくしようと工夫する力をつけるため」とであると、家庭科で育成する資質・能力について確認しました。

次に、3観点それぞれの学習評価のポイントを教えてくださいました。

- ①知識・理解…「事実的な知識」と「知識の概念的理解」がある。例えば寒い季節の着方では、開口部を閉じる、重ね着をするのは「事実的な知識」。温めた空気を閉じ込めるためなどと、それはなぜかを答えるのが「概念的理解」。汎用的に理解できるようにすることが大切。
- ②思考・判断・表現…どの題材も「思考・判断・表現」の内容から始まっている。最初に問題を見出して課題を設定することで、なぜ学ぶかの意識付けをする。最後に自分の生活に生かすための計画を考えさせて自分事にするのが重要。
- ③主体的に学習に取り組む態度…学習の振り返りで、うまくできたことだけでなく、できるようになるまで頑張ったことや、よりよい生活を目指して学習を生かして頑張ることを記入させて評価に生かす。

最後に、大学におけるICTを使った授業の紹介では、袋を手縫いし、スマホで撮影して振り返ることで、気があつたり深く考えたりすることができたという例が挙げられました。自分の理解のレベルを認識してより積極的な関心に変えていくためにICTの活用は有効であると実感しました。

家庭科における学習評価について多くを学ぶことができました。



### 令和4年度 小学校家庭科研究部組織紹介

顧問校長	柳瀬 美穂（瑞穂小学校）	坪井 百合子（追分小学校）
部長	河村 鮎美（浅間小学校）	
副部長	小田 真弓（平山小学校）	原田 佳代子（庄内小学校）
	森田 絵奈（三方原小学校）	

#### 【部長あいさつ】

今年度より小学校家庭科部の部長を務めさせていただくことになりました。「よりよい生活を自ら創り出す子供の育成」をテーマとし、消費者教育教材キットやICTの活用、小中5年間のつながりに焦点を当てて研修を進めていきたいと思っております。本年度も先生方と情報交換をし、研修を充実させていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。 部長 河村 鮎美

#### 【編集後記】

今年度、小学校家庭科部の家庭科だより「まど」を担当させていただきます。「まど」では、研修会の内容や各学校の実践を紹介します。より充実した家庭科の授業づくりの一助となるよう努めます。ご協力よろしくお願いいたします。 まど担当 副部長 原田 佳代子